

# とうわ 藤和けんこう通信



2014年11月号 VOL.49

一言大賞！

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）  
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

## 第1回 患者様・ご利用者様から頂いた 心に残る一言大賞 開催！！

10月25日（土）おださがプラザにて、『第1回患者様・ご利用者様から頂いた心に残る一言大賞』を開催しました。これは、当院が行っている訪問マッサージや訪問先介護施設等での現場で、私たちや介護職員さんが患者様やご利用者様から頂いた、心に残る印象深い一言とそれにまつわるエピソードを募集し、発表し合うイベントです。全部で20のエピソードが発表され、心温まるエピソードで盛り上がりました。



とても素敵な発表でみなさん真剣に聞いています！



最優秀賞 近藤 マチ子 営業 「宮崎県から...」  
第2位 野田 英次郎 施術者 「生き返ると活き返る」  
第3位 石井 旭 施術者 「まず、言葉で」



エピソード内容の紹介は次回のけんこう通信に掲載予定です。



司会進行を勤めた石井旭

また、来年も開催予定ですのでご参加・エピソードのご応募、どうぞ宜しくお願いします！

女性から  
ベテランまで



馬場悦子 野々村颯 大川寛 石井武司 丸山修一 加幡賢史 長谷川佳汰 代永涼子

幅広いスタッフ  
が揃っています！



須藤 新 長谷川加代 添田 真理子 板垣 鋭司 榎本多佳子 小木野貴史 近藤マチ子 岩本友保 野田英次郎 石井 旭 笹川雄司 若井清美



第1問 ○×クイズ  
奥歯の事を「親知らず」というが、それは親のように大きな歯という事である。



第2問 ○×クイズ  
光によって分解されるビタミンがある。



第3問 ○×クイズ  
コンセントという単語は英語である。



第4問 ○×クイズ  
インフルエンザの語源はドイツ語である。



第5問 ○×クイズ  
神奈川県は面積は全国で43位である



第6問 ○×クイズ  
体重計には、北海道用と沖縄用がある



## ヘルパーさん向け簡単マッサージ講座



普段お世話になっているアルプスの杜陽光台のホーム長の渡邊様より、お話を頂きまして、アルプスの杜「かみみぞ」の会場をお借りし、『ヘルパーさん向け簡単マッサージ講座』を開催しました。鍼灸マッサージ師の野田英次郎が講師を務め、介護職員さんが入居にできる簡単なツボ押し方法や注意点などお話ししました。また、参加者でペアになって頂き、簡単なマッサージ実技も行いました。

第1問

答え ×

その昔、今より平均寿命が短かった時に、「親知らず」が生えてきた時には親が亡くなっている事が多かったため

第2問

答え ○

ビタミンは光で分解される

第3問

答え ×

和製英語である。実際はプラグなどと言われる

第4問

答え ×

インフルエンザの語源はイタリア語である。イタリア語で影響という意味の単語が英語読みになっている

第5問

答え ○

面積  
43位神奈川 44位沖縄県 45位東京  
46位大阪府 47位香川県

第6問

答え ○

北海道と沖縄では、経度や緯度の関係で100グラム程違う。なので仕様が変わっている



## 特養の相部屋室料、全額自己負担案…一定所得で

(2014年10月31日読売新聞)

特別養護老人ホーム(特養)の相部屋の室料について、厚生労働省は一定以上の所得がある場合、入居者の全額自己負担とする案をまとめた。金額は、月1万5000円程度とすることを検討している。また、相部屋の光熱費についても、月1000円程度値上げする方針。いずれも来年4月の実施を目指している。

29日に開かれた社会保障審議会介護給付費分科会に示した。約52万人が入居する特養では、約4割が個室に入居し、約6割が主に2~4人が入る相部屋で暮らす。個室の入居者は月2万5000円~5万円程度の室料を払っているが、相部屋の室料は介護保険で賄われてきた。同省ではこれを保険の対象から外し、原則的に全額を自己負担するように改める考え。一方、低所得者(住民税非課税世帯)に対しては室料分を全て補助する方針。このため、実際に負担増となるのは、夫婦2人の世帯では本人の年金収入が211万円超、単身世帯なら年金収入155万円超の入居者など、6万人程度とみられている。

## 聴覚障害、脳波検査義務付け…佐村河内氏問題で

(2014年10月31日読売新聞)

聴覚を失った作曲家として話題を集めた佐村河内(さむらごうち)守さんが他人に作曲を依頼していた問題を受け、厚生労働省は30日、聴覚障害の認定方法を一部厳格化することを決めた。

初めて身体障害者手帳を取得する人で、聴覚障害で最も重い2級(両耳全ろう)と診断される場合、脳波検査など精度の高い検査を義務付ける。

同日開かれた専門家検討会で了承された。来年4月からの実施を目指す。現行では、診断する医師が必要と判断した場合に、脳波検査などが実施されている。また、医師の専門性向上を図るための見直しも行う。

同省などによると、佐村河内さんは2002年、初めて身体障害者手帳の交付を受ける際、聴覚障害2級とされた。今年2月の問題発覚後には「3年前くらいから聴力がある程度回復していた」などと説明。再検査を経て、障害者手帳を返還していた。

## 医療機器で酸素吸入中、喫煙で火災

(2014年11月1日読売新聞)

酸素吸入器を使用中に、たばこを吸おうとして火災になるケースが、今年に入って東京都内で2件起きていたことが東京消防庁の調査でわかった。酸素吸入器の酸素は高濃度で引火しやすく、同庁などは、近くで火を使わないよう呼びかけている。酸素吸入器は、呼吸を補助する医療機器。濃縮装置で作り出した高濃度の酸素を鼻に差し込んだチューブを通して、体内に送り込む。

同庁によると、今年5月、足立区の女性(51)がチューブを鼻から外し、たばこを吸ったところ、火種がチューブに触れて引火し、大けがをした。10月には港区の男性(79)が酸素吸入器を着けたまま、たばこを吸おうとしたところ、チューブから漏れ出した酸素に引火、顔や服に火が燃え広がり、死亡した。同様の火災は2004年~13年の10年間に都内で11件起き、計8人が死傷しているという。

医療用ガス供給業者などでつくる「日本産業・医療ガス協会」(港区)によると、チューブには大気中の約4~5倍の濃度の酸素が通っており、マッチや線香などの小さな火種でも、鼻などから漏れた酸素に触れると、一気に燃え広がる可能性がある。同協会は「家族も含めて、火気を近づけないよう注意してほしい」としている。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

発行元